

嵐山町立玉ノ岡中学校

●学校の歴史について

玉ノ岡中学校は、昭和59年に設立されました。当時、分離統合によって七郷中学校が廃校となり、菅谷中学校の一部生徒を迎える形で開校となりました。学校沿革誌には、当時の生徒数は431人、職員数は22人、学級数は12と記録されています。

●校章や校歌、学校のシンボルについて

校章は、勾玉を配して「玉ノ岡」を表現しています。校歌の作詞は小沢祿郎さん、作曲者は加藤美千代さんです。作曲者加藤さんの現在の姓は、「鈴木」。実は、菅谷中学校長の鈴木校長先生の奥様です。



玉ノ岡中学校 校章

●生徒数、クラス数の推移や現状について

現在の生徒数は191人、学級数は7です。生徒数が一番多かったのは、分離統合直後で、

489人の生徒が通っていたそうです。

学級数・生徒数一覧		
	学級数	生徒数
1 学 年	2	61
2 学 年	2	61
3 学 年	2	65
特別支援	1	4
合 計	7	191

●学校教育目標について

平成26年に新しく立てた学校教育目標は「夢を持ち、自分も他人も大切に、たくましい生徒」。思いやりを持って行動できる生徒を育てたいという思いをこめています。

●特色ある授業について



先生方の顔写真、担当する教科、部活動などのプロフィールが掲示されています

玉ノ岡中学校では、1年生・2年生の総合学習の授業で杉山



杉山城跡整備活動(2年生)

城跡の整備を行います。まず、校外の講師を招き、杉山城の歴史や文化的価値を学びます。その後、1年生は道の整備としてチップ撒き、2年生は竹の伐採を行います。町が誇る歴史的文化財の素晴らしさを学び、未来に継承していくことの大切さを学べるいい機会となっています。音楽の授業の一環として、琴を使った授業も行います。



お琴体験(3年生)

今年度から支給されたタブレ



文化祭 書道パフォーマンス



竹之下司 校長先生

経歴 鹿児島県出身。昭和58年に新任の体育教師として東松山市立北中学校で教鞭を執る。その後、比企地域を中心に様々な中学校で教員生活を送り、平成25年に吉見町立吉見中学校から玉ノ岡中学校へ異動。

しょうですが、案をしてその場所に行くより、失敗から学ぶことの方が多くあると思います。大切なのは、大人になったときに「スケジュールを管理し、自分で考え行動する」という経験があること。できたこと、できなかったことから何かを学ぶことが重要だと思います。

―小中一貫の取組について教えてください。―

本校でも志賀小学校、七郷小学校と連携し、様々な取組を行っています。例えば、本校の教員が「プラン」として2年間志賀小で授業をし、生徒の卒業と同時に中学校へ戻るといった形をとっています。小学校は学級担任制、中学校は教科担任制という大きな違いもあり、中学一年生です



廊下の「校長ギャラリー」には、校長先生が自ら撮影した写真が飾られています

ますいてしまつ子どもも少なくない。そんな「一ギャップ」をなくすことが大切だと考えています。小学生のうちから、中学校のことを良く知ってもらつ。小学校から知っている先生が中学校にもいる。そういった安心感が必要なのではないかと思ひます。

―生徒会や委員会活動などで、生徒主体の活動はありますか。―

生活委員会が主催し、生徒会協力のもと、0、8、4(おはよ)のつく日はのぼりを持って昇降口前で朝のあいさつ運動を行っています。教員も一緒に参加し、生徒たちも元氣よく挨拶を交わっています。

また、生徒会が主催で通学区美化活動なども行っています。

―PTA活動について―

PTAの皆さんには日頃から積極的に活動をしていただいています。学校に対して前向きな意見をくださることも多く、大変感謝しています。保護者の協力もあつての教育だと思ひていますので、今後ともよろしくお願ひいたします。



PTA資源回収

―最後に、学校や教育への「想」を聞かせてください。―

私たち教員ができるのは、生徒のために落ち着いた環境を作ること。教員一人ひとりが生徒に信頼される存在であること。そして、生徒の夢を叶える手伝いをするのだと思います。

嵐山町は、地域や家庭の「教育力」があると日々感じています。柔道の授業は町の柔道会の方が指導にきてくださったり、家庭科の授業では味の会の皆様

―ありがたいことありました。―

地域の皆様のご協力があつて、生徒たちも色々な体験をし、伸び伸びと学ぶことができます。今後とも、よろしくお願ひいたします。

卒業生の皆さんにとっては、懐かしく思つ反面、時代に合わせ変化した部分も感じるかもしれません。社会の変化と共に、教育の現場も少しずつ変化しています。生徒数が減少し、クラス数や部活動の数もそれに伴い少なくなると、嵐山町でも、今後の学校の「あり方」について検討しなければならぬ現状にあることは事実です。

二人の校長先生は、「嵐山町の教育は地域に支えられている」と話してくれました。子どもたちの成長には、地域の見守りや手助けが欠かせません。未来を担つ子どもたちのために何ができるのか。本当に残していかないとけないことは何なのか。皆さんも、この機会に考えてみていただければと思います。

ツトは、様々な授業で活用しています。数学の授業では、図形の問題を立体的に学びます。体育の授業で、例えば跳び箱を飛ばす動きを撮影し、手のつく位置や踏み切りのタイミングを確認することなどに使います。フォームの確認などで、運動全般に有効利用しています。

―玉ノ岡中学校の「い」を教えてください。―

元気で明るい生徒と、教育をサポートしてくれる地域の方がいることです。

―特色ある行事について教えてください。―

1〜3年縦割りの団編成で競う体育祭は、大いに盛り上がる行事の一つです。最近では縦割りの団編成は珍しくありませんが、実は私が教員になった頃は比企地域ではどの学校もやっていませんでした。私が東松山市立北中学校にいたとき、比企で初めての縦割りの団編成の体育祭を行いたいと一念発起し、前例がない中協議を重ね、実施しました。大変盛り上がり、体育祭の後も感動と興奮が冷めない生徒がいつまでも帰らず校庭で集まっていたことを覚えていま

部 活 動 一 覧	
野球	男子
ソフトテニス	男子・女子
バスケットボール	男子
バドミントン	女子
バレーボール	女子
吹奏楽	男子・女子

●活躍している卒業生について

サッカー選手の黒川淳史さん(大宮アルディージャ)や、箱根駅伝で活躍した植木章文さん(現・㈱トーエネック、大東文化大学卒)などが有名です。



杉山城での連風揚げ

竹之下司校長先生へのインタビュー